



“光の祭典 in 紀宝”を開催 イルミネーションが会場を彩る

光の祭典 in 紀宝実行委員会は12月1日から1月5日まで、ふるさと資料館前広場で「光の祭典 in 紀宝」を開催しました。

紀宝町の冬の風物詩として定着している同企画は、今年度も新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止やイルミネーションの規模を縮小しての開催となりましたが、恒例の20mツリーや光の橋、天使の羽などが会場を彩りました。

来場者たちは、さまざまな光のオブジェに彩られた幻想的な会場内をゆっくりと歩きながら眺めたり、写真に収めたりしてイルミネーションを楽しみ、会場内は、みんなの笑顔であふれていました。

01. サンタクロースとトナカイ。02. ハートでシャッターチャンス。03. 光の橋。04. 天の川。05. 天使の羽。06. 7mツリー。07. 海の生き物。08. 光の祭典 in 紀宝。09. 全体の景色。10. 相合傘。11. 20mツリー。12. ラブリーハート。

Town topics

12 / 1 / 5

人の営みの積み重ねに思いをはせる 鵜殿西遺跡の現地説明会を開催

三重県埋蔵文化財センターは12月18日、鵜殿西遺跡の発掘現場で現地説明会を開催しました。

鵜殿西遺跡は、熊野川河口部の北岸にある遺跡です。今回の説明会では、当時の鵜殿が中世都市・新宮の一角として重要な位置を占めていたことや、これまでの調査で有力者の邸宅と考えられる東西約13m×南北約11mの大型の建物を含め、14棟の建物が見つかったことなどが説明されました。

参加者たちは同センター職員の説明を興味深く聞きながら、人の営みの積み重ねに思いをはせていました。



鵜殿西遺跡で行われた説明会

Town topics

12 / 18



防災大賞を受賞した津本地区自主防災会の大嶋さん(左)、谷口さん(右)

さらなる防災力向上を誓う 津本地区自主防災会が防災大賞を受賞

津本地区自主防災会が本年度の「みえの防災大賞」で防災大賞を受賞し、12月22日には、同防災会の谷口昌宏会長と大嶋やす子さん(あおさき)が役場に訪れ、受賞を西田町長に報告しました。

同防災会は、これまで子どもから高齢者までが楽しく防災を学ぶ「防災チャレンジ大運動会」を開催するなど、幅広い世代が参加しやすい独自の取り組みを進めてきました。

谷口会長は、「地域住民のみなさんを代表して受け取りました。今後も、大地震への備えを忘れず、地区タイムラインの精度向上にも努めたいです」と話していました。

Town topics

12 / 22